

ギヤ

10月21日は市ル下品A品。大阪Sはテレた。作無料。6110

催水・木は10時場梅。40回マ最高ムじ一阪。同日市天間会。立司礼問。6379

大阪

OSAKA

「ここは私たちがリラック

メッセージボード

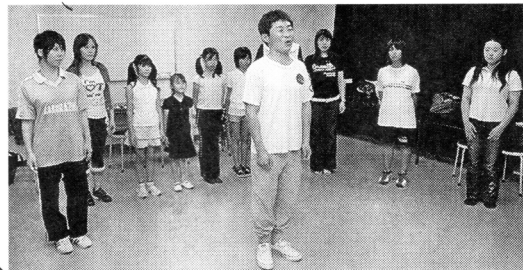
スする場所。机なら教室にあ

トニフドヒ

太平洋戦争中、米軍潜水艦に撃沈され... 府内で活動する劇団「ARK」(アーク)が上演。1幕16場で上演時間は約1時間半。

「銀の鈴」は、1人の男性と、対馬丸とともに海に沈んだ子供の遺品の銀色の鈴をめぐる出来事を通して、沖繩戦を前にした本土疎開の背景や対馬丸の出航・撃沈の様子や、箱口合によって事実隠蔽がはかられた事件後などが描かれている。

戯曲で伝える対馬丸事件の悲劇 来月7日



対馬丸事件をテーマにしたオリジナル戯曲「銀の鈴」の稽古をする出演者ら一豊中市

一つであるエイサーを披露する。作・演出を担当する齋藤代表(48)門真市は「対馬丸とともに沈んでいった多くの子どもたちの鎮魂歌として構成した。この芝居を通して大切な人が戦争で突然いなくなってしまうことについて考えてもらいたい」と話している。

大戦中、学生ら1500人が犠牲

対馬丸の悲劇忘れず

【豊中市】第二次世界大戦中に約千五百人の学生らが犠牲となった「対馬丸事件」をテーマにしたオリジナル悲劇「銀の鈴」が七日、豊中市新千里東町一丁目のよみうり文化ホールで上演される。

同事件は、一九四四年八月二十二日、沖繩から長崎に向けて航行中の学童疎開船が米軍潜水艦の魚雷攻撃を受けて、学生や乗組員ら約千五百人が犠牲になった。

脚本は、公演する劇団「ARK(アーク)」の齋藤代表(48)が、生存者や有識者から聞き取りを行い執筆。〇二年七月に同市で初演し、対馬丸事件から六十年を迎えた〇四年九月には吹田市内で再演された。事件を忘れず、今できることは何かを問い掛け続けるため、今回の公演が企画された。

オリジナル劇「銀の鈴」7日に3年ぶりの上演

齋藤さんは「大切な人が戦争によって突然いなくなってしまうことについて考えるきっかけになれば」と話している。開演前には対馬丸事件の生存者で、対馬丸記念会上原妙理事(左)・沖繩県による体験談の講演も行われる。公演は午後一時、同五時の二回。入場料は前売り三千円、高校生以下、六十五歳以上、障害者は千五百円(当日は各五百円増)。問い合わせは電話0990(8823)・9646、齋藤さんへ。